



## プレアビヒアのクラスター爆弾被害

Voice of Heartは地雷・不発弾、障害者問題に焦点を当てて被害の多いカンボジア北西部をターゲットに放送している。ラジオでできることはないだろうか。いつもそう考えて取材、制作しているのだが、気になっていることがあった。

内戦の負の遺産である地雷や不発弾はこの問題に取り組む国際的な支援と撤去団体の不断の努力で確実に数を減らしている。しかし、新たに勃発した戦闘のせいでまた不発弾が増えてしまった。それもかなりやっかいだ。

世界遺産、プレアビヒア寺院。寺院周辺の国境未確定地域をめぐってタイとカンボジアの対立が続いている。2011年2月、4月に大砲、ロケット砲などを用いた本格的な交戦が起こり、タイ、カンボジア双方で兵士、住民をあわせて30人が死亡、100人以上が負傷した。2月の交戦ではタイ軍がクラスター爆弾を使用。カンボジアでクラスター爆弾によって2人が死亡、2人が手を失う被害が出た。CMAC (Cambodian Mine Action Centre: カンボジア地雷対策センター)によると、寺院周辺の182ヘクタールの土地がクラスター爆弾に汚染されているだろうという。



クラスター爆弾は親爆弾となる砲弾のケース内に多数の子爆弾が含まれており親爆弾が空中で爆発後、子爆弾が広範囲にばらまかれる。子爆弾は投下されても爆発せず大量の不発弾となって残ることが多く、戦闘終了後も長く住民の安全を脅かし土地の開発を阻む。その非人道性から対人地雷禁止条約に続き、クラスター爆弾の使用、製造、保有など全面的な禁止を定めたクラスター爆弾禁止条約が2010年8月に発効した。なお、タイ、カンボジアともに国境紛争を理由にクラスター爆弾禁止条約には加盟していない。

クラスター爆弾の被害を防ぐためにCMCができること。

クラスター爆弾被害の現状を知るため、CMACのDU#3（Demining Unit 3: プレアビヒアを管轄）を訪ね現場に出かけた。プレアビヒア寺院から近いスロアエム村にCMACがあるのだがこの村に放送局があった。FM99。クラスター爆弾の被害が出ているエリアをカバーする。ここで放送してみよう。クラスター爆弾汚染地域で危険回避教育を行なっているCMACと連携し、ラジオでもメッセージを伝えたい。Voice of Heartをプレアビヒアで放送することにした。



## Voice of Heart プレアビヒア放送概要

ラジオ局	Sweet FM99
放送期間	2011年5月～2011年6月 4回放送
放送日	金曜日
放送時間	12:10 – 13:00
聴取可能エリア	プレアビヒア州 オッターミエンチャイ州
出演	ラジオ局DJ CMCスタッフ CMAC MRE (Mine Risk Education) スタッフ